

京都大学学歌を 歌えますか？



みなさんは、京都大学学歌を歌えますか？ 入学式のときに耳にして以来、聞いたことも歌ったこともない人がほとんどのではないのでしょうか。ここでは、意外と知られていない学歌の歌詞やメロディ、歴史について紹介します。数年後の卒業式のために、歌えるようにしておくといいかもしれませんね。

京都大学学歌

水梨弥久 作詞
下総皖一 作曲

稍々荘重に

mf *v* *f* *v* *mf* *v* *f* *v* *mp* *v* *f* *v* *ff*

(一) コ コ ノ ヘ ニ ハ ナ ソ ニ ホ ヘ ル セ ン ネ ン ノ ミ
(二) み ど り ふ く く す の は か ぜ に と き の か ね つ

ヤ コ ニ ア リ テ ソ ノ ツ チ ヲ ア シ タ フ ー ミ シ メ ソ
ぎ て ひ び け ぼ ひ と の よ に ま こ と た ー つ べ く う

ノ ソ ラ ヲ ユ フ ベ ア フ ゲ バ ア ヲ グ モ ハ キ
つ せ み に ま こ と た つ べ く た ま き は る い

ハ ー ミ ハ ル カ ニ ワ レ ラ ノ マ ナ コ ヲ ム カ ヘ テ ー ル ヒ ハ ヒ カ
の 一 ち を こ め て い し ゅ 糸 か た く き づ か ん の 一 び ゆ く つ よ

リ タ ダ サ シ ワ レ ラ ノ コ ト バ ニ ウ ツ ル ー
き ち か ら の ひ い づ る く に の こ わ れ ら ー

- 九重に 花ぞ匂へる
千年の 京に在りて
その土を 朝踏みしめ
その空を 夕仰げば
青雲は 極みはるかに
われらの まなこをむかへ
照る日は ひかり直さし
われらの ことばにうつる
- 緑吹く 樟の葉風に
時の鐘 継ぎて響けば
人の世に まこと建つべく
現身に まこと立つべく
たまきはる 命をこめて
いしず糸 堅く築かん
伸びゆく 強き力の
日出づる 国の子我等

♪ 学歌、その歴史

学歌ができるまで

京都大学学歌は、昭和15（1940）年1月18日に制定されました。学歌の歌詞は、京都大学の職員・学生・卒業生を対象に公募され、「雄渾ニシテ品位高キモノ」「十二行乃至十八行程度」と言う条件が付されました。賞金は1等1名200円、2等2名50円ずつだったそうです（現在ではそれぞれ、78,000円、20,000円程度になります）。

この公募には21点の応募があり、その中で水梨弥久氏（昭和13年文学

部国語学国文学専攻卒業生）の作品が選ばれました。それが現在の学歌の歌詞になっています。

また曲については、下総皖一氏（東京音楽学校助教授）に作曲を依頼しました。

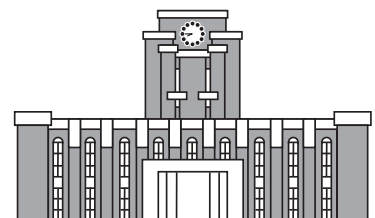
学歌制定式

同年の2月11日に、時計台2階大ホール（現・国際交流ホール）にて学歌制定式が行われました。同時に学旗の制定も行われ、当時の写真が京都大学の大学文書館に残っています。

Sound 学歌を聴こう！

京都大学のホームページで、京大合唱団OBの歌う学歌（1番）を聴くことができます。ぜひ下記のアドレスにアクセスしてみてください。

http://www.kyoto-u.ac.jp/top_b/ain2/a-in01.htm



（文・1 karaokemaster ♪）
（若かったあの頃；編）

はみだし
すてーじ

半年前の写真を見て、「若いな…」と思ってしまう自分。
⇒後期は人を狂わせますよね。